

## 第7回伊賀・山城南定住自立圏共生ビジョン懇談会 議事録

<b>開催日時</b>	平成30年3月29日（木）10：00～11：45
<b>開催場所</b>	伊賀市役所2階 第1委員会室
<b>出席委員</b>	<p>土山希美枝（龍谷大学政策学部）</p> <p>岡村 順子（三重県伊賀地域防災総合事務所）</p> <p>姫野 孝宏（京都府山城広域振興局）</p> <p>上出 通雄（伊賀市社会教育委員）</p> <p>稲垣 八尺（一般社団法人伊賀上野観光協会）</p> <p>栗野 仁博（上野商工会議所青年部）</p> <p>長澤 卓夫（西日本旅客鉄道株式会社近畿統括本部大阪支社）</p> <p>島井不二雄（島ヶ原地域まちづくり協議会）</p> <p>仲北 悦雄（笠置町区長会）</p> <p>中西 隆夫（一般社団法人観光笠置）</p> <p>大仲 順子（南山城村人権擁護委員）</p>
<b>欠席委員</b>	<p>奥田 詩織（社会福祉法人伊賀市社会福祉協議会）</p> <p>奥 伸也（伊賀市消防団）</p> <p>安場 昭和（社会福祉法人南山城村社会福祉協議会）</p>
<b>議事日程</b>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 開会</li> <li>2. あいさつ</li> <li>3. 議事録署名人の指名について</li> <li>4. 議事             <ol style="list-style-type: none"> <li>（1）今年度の事業計画と取り組みの進捗状況について</li> <li>（2）今後のスケジュールについて</li> </ol> </li> <li>5. その他</li> </ol>
<b>議事概要</b>	<p>1 開会 （事務局）</p> <p>定刻となりましたので、ただいまから、第7回伊賀・山城南定住自立圏共生ビジョン懇談会を始めさせていただきます。</p> <p>本日の議事に入りますまでの進行を努めさせていただきます。伊賀市総合政策課の月井でございます。どうぞよろしくお願いいたします。</p> <p style="text-align: center;">・事務局より会議の成立、会議の公開について報告</p> <p>本日、委員の半数以上の出席をいただいておりますので、会議が成立していることを報告させていただきます。</p>

なお、本日は奥田委員、奥委員、安場委員から欠席のご報告をいただいております。

なお、栗野委員につきましては、少し遅れるとのご連絡をいただいておりますので、ご了承いただきたいと思います。

本日の懇談会につきましては、「伊賀市審議会等の会議の公開に関する要綱」の規定に基づき公開とし、会議の傍聴を認めておりますので傍聴される方、報道関係者の撮影等について、ご了解・ご理解をお願いいたします。また会議録につきましても公開となりますので、録音させていただきますことをご了承いただきたいと思います。

それでは、お手元の事項に沿って進めさせていただきます。

まずはじめに、本懇談会の会長であります会長よりご挨拶いただきたいと思います。

## 2 あいさつ

(会長)

あらためまして、皆様、おはようございます。外は桜が満開で、ここ2、3日の間に春らしくなってきました。また、行政の皆様方も、年度末と言うことで何かとお忙しいところで、本日ご説明いただきますけれども、我々委員につきましても、何名かの欠席者がおられるということで、これも年度末のためかなと思います。なお、私どもの任期が今月末で終了ということで、この懇談会がどれだけお役に立てたか、それから、まず第一に、私が会長に指名されまして、皆様方のご意見を本当に反映できたのかを一番心配してきたところでございますが、本日の会議におきましては、29年度の事業結果とこれから4年間の事業計画を説明していただくということで、私ども懇談会が役に立ってそちらに向かっているのかを含めて、皆様方で確認いただければと思いますのでどうぞ宜しくお願いいたします。

(事務局)

・資料確認

ありがとうございました。それでは事項に入らせていただきます前に、資料の確認をさせていただきます。事前に送付させていただきました資料は、皆さん今日はお持ちいただいておりますでしょうか。事項書の次に委員名簿、それから資料1の1、資料1の2、資料2、資料3と四種類ございますが、過不足等ございませんでしょうか。

それでは、以降の進行は会長の方でお願いしたいと思います。よろしくお願いたします。

### 3 議事録署名人の指名について

(会長)

それでは、本日の会議についてですが、まず議事録署名人の指名をさせていただきます。上出委員と大仲委員を指名させていただきます。どうぞ議事録署名人の方、よろしく願いいたします。

### 4 議事

(会長)

それでは、議事に入らせていただきます。本日の懇談会では、今年度の事業計画と取り組みの進捗状況について、ご協議いただくということになりますのでよろしくお願ひします。

はじめに、議事1の5年間の事業計画について、前回の懇談会でいただいた意見を踏まえて、5年間の事業計画実績表を作成いただきました。まず、様式について、事務局の説明をお願いいたします。

#### (1) 5年間の事業計画について

(事務局)

#### ★「資料1－2 記載例」について説明

(会長)

ありがとうございました。記載例の説明がございましたけれども、これに関して何かご質問がございませんか？

(委員)

すいません。そのPDCAの「C」というのがこの進捗状況ですか？

PDCAでしょ？「C」はどこに？

(会長)

事務局宜しくお願ひします。

(事務局)

今回の記載例には「C」がないのですが、実はこの各事業の上に施策というものがございまして、例えば今、ビジョンをご覧いただけるのであれば、ビジョン18ページ等に各施策がございまして、そちらにKPIの数値とかを掲載してございまして、今回7月の実績報告の段階でこの事業報告書と、これにプラスして施策シートとい

うのを付けて、それを「C」にしたいと思っています。各事業を進めていって、この施策の評価をチェックということで、別シートで設けたいなと思っていますので宜しく願いいたします。今は各事業の確認ということで宜しく願いいたします。

(委員)

K P Iはどこにあるのですか？

(事務局)

各事業のK P Iは設定しておりませんが、施策についてK P Iを設定しておりますので、今お示ししているものにはございません。

(委員)

わかりました。

(会長)

まだ始まっていないので、今後新しい形で入ってくるということかと思えますけれども。

(副会長)

今のご意見は、多分、どうやっていってこの検証をしていくのかな？ということかと思えます。「チェック」って動詞ですので、シートを作るというよりも、シートを使って評価するということが本来の形じゃないかと思うのです。事務事業評価などの形で評価をされる部分もあると思うのですが、そういう意味では事業のこの計画の進捗をどのタイミングでどのように評価するか？ということと、また、実績課題について、チェックして実績を検証したり課題を書いたりしてそれを使ってチェックするというタイミングがきっとあると思うのですが、その体制とかスケジュール等について事務局から補足いただければ良いじゃないかと思えますが、いかがでしょうか？

(事務局)

実績については、次年度に入りまして6月頃から部会のほうで、実績とP D C Aの進捗状況を確認させていただいて、7月のビジョン懇談会でお示しさせていただく予定をしております。

(会長)

7月頃にその様式で出てくるということによろしいでしょうか？

他にこの様式、記載例について何か質問等ございましたら。

無いようでしたら引き続き、部会ごとに報告いただくということですので、事務局で進めるようお願いいたします。

ただ、ご意見・ご質問等については、全項目終わってからお願いすることになりますので、各部会の説明をお願いします。

(事務局)

それでは報告に入らせていただきたいと思います。資料2の報告順にしたがいまして報告していただきます。

#### 《各部会から報告》

①医療・福祉部会→②教育部会→③産業振興部会→④環境部会→⑤防災部会→⑥交通情報部会→⑦インフラ部会→⑧交流部会→⑨人材育成部会

(事務局)

ありがとうございました。部会からの報告は以上になります。

(会長)

ありがとうございました。各部会からの報告をいただいたところで、皆様方ご意見がありましたらお願いします。ページ数と事業名を挙げてご意見いただければと思います。

(委員)

2点についてお聞きしたいと思います。まず、事業費の関係ですけれども、全ての事業に関係しますが、例えば、1ページの救急医療費のところを見て貰いますと、この事業費の母体となる市町村の事業費というのをあげていただいているのですが、先ほどの説明の中では「連携事業を含む母体となる町村の事業」と「29年度のビジョンに掲げる予算」となっているのですが、実際は各市町村の予算の事業項目の中で救急医療にかかわる全体の金額を母体となる所にあげて貰っていると思います。次に連携として2次救急とダイヤルの2つについての事業費はこの中で謳われているのかいないのか、それをお聞きしたいと思います。

それと財政措置についてですけれども、これも国から財政措置されていると思うのですが、これはあくまでも、この事業をやった場合について補助金が交付されるかどうかという考えでいいかと思うのですが、29年度まだ決算されていないので、どれくらいの金額が各市町村に分配されるのかということをお聞かせいただきたいと思います。

それと、もう1点は介護、認知、障がい福祉の関係で、研修費とか講座等についてということで、伊賀市が中心とならているような講習会とか研修会をもたれてい

るわけですが、ただ、笠置、南山城については地理的な条件もあり、そういった講習会、研修会などに地域住民がそちらに行って出来るのかどうか、そういったことについて、事務担当の中で具体的にお話はされていると思うのですが、そのへんの講習会、研修会を持たれる考え方、これを上手くやっていただきたいと思うのですが、もしこういった問題点があればお聞かせいただきたい。今後、そういった工夫をされていくと思うのですが、その点についてお聞かせいただきたいと思います。

(会長)

全体的なことも含まれていますので、先に（事務局が）お答えいただければと思います。

(事務局)

まず、事業費の考え方についてですが、最初に申し上げましたとおり、ここについては、それぞれの母体となる市町村の事業の予算をあげていますので、例えば1ページについては、連携事業の①②の事業もこの中に全て含まれたという考え方でご理解いただきたいと思います。この①②のそれぞれの事業費が出るのかというご質問かと思うのですが、あくまでも既存の今行っている事業を圏域を広げてしているということですので、事業費自体は出るかと思いますが、ここに出させていただくことは適当なのかということ、ここには全体の事業費ということで上げさせていただいております。

それと、特別交付税の金額でございますけど、当初人口で考えている予算といいますか、各市町村でいいますと、伊賀市が6,500万円、南山城村と笠置町がそれぞれ1,500万円ということになっています。これについては事業をしたからというよりも、一旦、年度ごとに交付されるということで、例えば伊賀市の場合ですと、6,500万円をいただいて、それを何に充てるかということ、これを財政当局が考えて充てていくということになります。ですので、既存事業を連携して進めていくという考え方で、この6,500万円をそれぞれ連携した事業に充てていくというような考え方ということになります。

(委員)

そうしますと、この連携事業に、例えば救急医療の①②のところに充てている金額を特定するのではなくて、全体的な救急医療費、各町村の救急医療という予算組みされているものに対して補助金を充てていくということですか？

(事務局)

そうですね、6,500万円ということで、この事業費よりも少ない金額となっております。

ますので、どこに充てているかということでは特定できないということになります。

(委員)

わかりました。

(会長)

あとの3番目のほうは？よろしかったですか？研修・講座の関係については？

(委員)

地域的なところで参加するのは、地域住民の参加と謳われていますのでそのへんのいろいろな工夫を。

(会長)

予算はあげていないですが、伊賀市のほうへ町村の方々も当然入っていったいいのかということだと思います。そのへんの説明をお願いします。

(医療・福祉部会)

特に介護のところでご質問いただきましたが、今の考え方としましては伊賀市がやっている事業のエリアを拡大してそこに参加いただければということでは始まっています。ただ、介護予防については各町村でも各事業がありますので、そこにはないような伊賀市の事業に来ていただければということはあるんですけども、実際のところは担当者間で話している中では、対象者が高齢者になってきますので、わざわざ伊賀市に来て貰えるのかという疑問もありながらも、一旦圏域拡大ということでやってみていますので、例えば伊賀市でやっている事業で町村がやっていない事業であっても、町村どちらかの会場でやってみるといようなことを今後は検討していく必要があるかなと考えております。

(会長)

よろしいでしょうか？

(委員)

はい

(会長)

そのほかにご意見、質問等ありますか？

(委員)

具体的に中身をお聞きしたいのですが、3ページの医療・福祉部会。これは子育て相談をいろいろされていると思います。私どもも参考にしたいのですが、子育て相談で相談される具体的な内容、もし、分かればどういう子育ての方がこんな相談をされたというのを出来れば参考にさせていただきたい。分かる範囲で結構です。

(医療・福祉部会)

失礼します。子育て支援センター事業の中のにんにんパーク事業ということであげております。これは伊賀市内にあります上野南公園で、毎月の第2・第4日曜日に教室を行っています。子供を遊ばせながら、保護者同士が交流を持ったり、仲間作りをする等、今、子育ても核家族化でお母さんが孤立しているということもありますので、そこには保育士もいますので、子供は保育士が見ながら、保護者が交流するような場面設定ということで聞かせてもらっています。

(委員)

ようするに交流会ということですね？具体的に子育てするのに例えば伊賀市がこういうことをしてくれれば具体的に良いということがあるかな？ということをお聞きさせていただければと思ったのですが。

(医療・福祉部会)

相談はまた別のところでやっておりますので。

(委員)

わかりました。もうあと2点、次に21ページですが、産業振興部会でいろいろ観光パンフレットを設置しておられるということなんですが、具体的にうちの笠置町から伊賀市の方に何かのパンフレット等、届いているのですか？39ページも同じ質問でお聞きしたいのですが。届いていないなら届くようにしないとイケないので。

(会長)

お分かりでしょうか？

(事務局)

すいません。今回観光の担当が部会長でなく、ここには来ていませんので、また確認させていただいて回答させていただきたいと思います。

(委員)

わかりました。最後もう一点、33ページ、交通情報部会の方で、リニアの伊賀市がこういうことされているということはこの近くに駅の予定を想像されているの



か？我々の近くでしたら奈良市に（木津川市を超えたところの）平城山という JR の駅があるんですが、これは 30 年、40 年前からリニアがここにくるという話があって、おそらくそちらに来ると考えているのですが、もし、こういうことを考えているのなら、伊賀のどこに来るような話があるのか、分かるようでしたら参考までに教えてください。

（交通情報部会）

まだ、具体的なルートであったり停車駅であったりというのが示されていないのが現状で、それを早期に示してほしいということを国や事業主体の JR 東海へ要望をしているという段階です。ただ事業計画の中では名古屋市を通り、奈良市付近をとということには変わりはないそうです。それと、各県に一駅ということですので、最短距離を結んでいく、またいろんなルート予想図なんかを見ていると、伊賀地域、また、この南山城、笠置に直接当たるかどうかというのはありますが、太い線で奈良市付近に至るルートが描かれていることがございますので、近くにやってくるだろうということを見越して地域への好影響をどういう風に受け止めるかというのを想定していかないといけないということで、情報を共有させていただければという風に考えております。

（会長）

願望は出来れば伊賀市ということですね。

（委員）

わかりました。以上です。

（会長）

他どうでしょうか？

（委員）

お願いということになるのですが、一つは京都府側の立場でということになるのですが、この定住自立圏でいろんな事業をさせていただいておきまして、基本は中心市の圏域拡大という事業がほとんどということでスタートされているということは分かるのですが、町村もありますので、圏域拡大にとどまらず、先ほど、話もありましたが、事業実施にあたっては伊賀市以外での実施ということも含めて少し今後幅広に考えていただきたいなということが 1 点です。もう一つですが、結びつきのネットワークの強化ということで相互にパンフレットを置いたりという事業があるんですが、今後もう一步進んで、例えば観光マップを伊賀市と南山城村と笠置町が入ったものを作って貰うとか、例えばパンフレットの中に割引クーポンがあつて

笠置温泉があつたり、島ヶ原温泉がついていたりということで、出来ればこの3市町村が一体となった事業として観光マップのようなものを作っていただければなど、これは要望ということで1点お願いしておきます。

(会長)

最初のほうは全体の事業にかかわってくるかと思うのですが、伊賀市ばかりでなくて、他のほうが主体となるような事業もやっていただければということですが、どちらかお答えください。

(事務局)

ありがとうございます。委員さんが仰られるように、そのとおりだと思います。例えば職員の研修会等は、これまで伊賀市で行ってきましたが、来年度からは輪番制ということも考えておりますので、それぞれの事業についてもそのような考え方で行いたいということを思っております。

(会長)

よろしいでしょうか？

あと観光のほうですが、マップとか割引券などの拡大も視野にいれられているかどうか、観光の担当は見えないですか？

(事務局)

観光だけでなく、今後4年間、実績を含めて皆さんに検証をしていただくこととなりますので、今いただいた意見をふまえて、今後ステップアップするような事業を考えていきたいと思えます。

(会長)

よろしいでしょうか？他どうでしょうか。

(副会長)

様式などのところではいろいろご意見を申し上げたところですが、具体的にどんな計画・内容が行われるかということや、具体性のある市町村事業についての予算や事業費などについて計画として具体的に分かりやすいものになったのではないかと考えております。一方で、評価（チェック）ですね、描いたものが実現できているかということが大事になってくると思うのですが、例えば25ページ、26ページの環境部会のところですが、当然、長い時間がかかる難しい問題でありますし、既存の体制との関係もあるんですが、事業概要と具体的な事業の内容について整合性がないかなと思うところもあります。例えばここでいう成果というのは不法投棄の抑

制につながる成果ということであって、監視カメラ設置などがあるのですが、具体的には街頭啓発と啓発物品の配布となっています。次のところはゴミの分別を適正に行うことと、また、不適切なものの再分別に係る費用・労力を減らす、ある意味楽になるはずの展開ですけども、具体的な事業内容は状況把握と情報共有となっているんですね。そういう意味では事業概要が期待している成果を、今の事業で果たすことが出来るかどうかについては、継続的な検証が必要なのではないかなという風に思います。またそういう継続的な検証を果たすというのが、先ほどご案内がありました7月に実績や課題を入れて、そのあと次期のビジョン懇談会を行っていくということになるかと思うのですが、その時に成果を図るという意味では評価の対象になるような費用とか効用とかの整備が必要なのかと思います。具体的なその事業に関する費用が出ないのかというコメントがあったと思うのですが、それも費用と効用の関係を考えるときにそういう数字が必要なのではないかということではないかと思います。また、効用についても、もう100%になった事業もあるわけですが、せっかく連携を進めていく中で、もう少し連携を膨らませていく中で100%が120%になるような展開が、どこかのタイミングで検討したり挿入されたりということを期待されているのではないかと思います。そうしたイメージで今後の事業概要と事業の間の成果の評価ですとか、そうした成果・効用を拡大していくことですとか、効用に対する費用の具体的な内容というものが見えてくるとより良いものになるのかなと思います。ただそれは今後の実践の中での注意事項になるかと思うので、一部そういった事業の25ページ26ページについてはやや事業概要と事業の具体的な内容とで事業概要が期待する成果が果たせるのか？これだけでは分かりかねるものがありますよというような指摘に留めさせていただいて、それ以外のことについては、今後、成果に対する評価における視点としてのコメントにさせていただければと思います。

(会長)

25ページに関しまして、私島ヶ原地域の自治協になるんですが、特に境界線あたりのゴミ、不法投棄がすごく多く、有害物質の埋め立て等もあって、地域では監視しているんですが、その監視そのものについては全く計画にはあがってなくて、このへんは事業的にも中身を入れていかなくてはいけないのかなとも思います。今年度やったことは仕方ないですが、来年度、再来年度には具体的な部分をしていただかないと、地域の自治協だけあるいは支所だけが対応しているということでは少し違うと思うので、関連してお話させていただきました。

(副会長)

今年度については問題点の指摘と事業成果としてもう一段という要望があるということについて、平成30年度で、情報交換で進捗が100%になっているところにつ

いて、継続的に見直す機会を持って貰うことが必要だと思います。

(会長)

それでは各部会で今後検討していくようお願いしたいと思います。

そのほかございませんか？

(委員)

14 ページから 18 ページに関することですが、ほとんどが生涯学習に関する事業と思うのですが、特に文化、スポーツと公民館事業、図書館事業というものについて小分けにしなくても、笠置町から南山城村については広域連合ということで生涯学習課が担当課になっているのですが、伊賀市は文化交流課、生涯学習課、図書館というふうに分かれているのですが、学ぶ場と発表する場については生涯学習課に関連すると思うので、それぞれが連携して担当してもらえればもう少し効率も良くなるし、充実するのではないのかな？とそういう風に思うのですが。分けるのではなく、連携したことをやっていただければと思っております。

(会長)

教育関係ですね？

(委員)

笠置とか南山城は詳しくは知らないですが、東部広域連合生涯学習課になっているので、これで本当にいいのかな？と、伊賀市はそれぞれ独立しているのではないのかな？と思って、中では関連しているのかもしれないですが、強い連携を持っていただければ、効率もかなり上がるのではないのかなと思います。

(会長)

項目をまとめてしまうのか？分かれたままということでもよろしいのか？今後の要望ということでよろしいか？そういう形で計画をまた立ててもらいたいということになるかと思いますが。

(委員)

はい。独立してやるより連携したほうが良いと思いますので。

(会長)

その他どうでしょうか？ お願いします。

(委員)

今回出していただいた計画について、特に事業ごとの進捗ですが、どうやって100%に至るのかという道筋は出てきて、全体の部分もご紹介いただく中で連携して動いてきたのだなというのを少し感じて心強い思いがしたのですが、だからこそあえて次回に向けての要望があるのですが、1つは、一体的に、ただ既存のものを組み合わせただけ、組み合わせなんでしょうけども、成果として一体的に生まれていくようなもの、例えば観光や移住関係で過疎対策とかですね、一定のテーマごとにどういう取り組みが組み合わせられて出来ていくのかというものが見えやすい表し方がないのかな、ということをおもいました。特に、先ほど課長のほうからステップアップしていくということで、どういう事業の付け加え方をするのか、ということに合わせて考えていただければなという風に思いました。それと合わせて、事業の進捗予定の今回既に出ている計画の中でどう進捗していくかということは何%という風に表してくれているので、分かりやすくなったのは確かなのですが、これを毎年評価していく中で、どう課題に対して対応して新たな事業を組んで行ったときに、ここをどうするのかなと思いましたので、今回限りの進捗予定の表し方ということであればそれで結構ですし、何か工夫されるのであれば、そういうところも工夫いただきたいと思えます。それと合わせて、評価に関してはどういう様式で評価をしていこうとするのか、先ほど言われた意見に基づいて、どう表していくのかという工夫が次回に向けては必要と思いましたので、検討いただければと思っています。宜しくお願いします。

(会長)

今、予定している部分で、回答出来ることがあるでしょうか？

(事務局)

確かに実績や課題等が出てくる中で、一つの表だけで、行っていくのは少し無理があるというか、難しいかなというところは実感しておりますので、この7月に実績を皆様にご報告させていただく際には、この表を基本とはさせていただくのですが、少し変更になったり、もう一枚別の表が出来るのかはわかりませんが、もう少し分かりやすいようなものをお示しさせていただこうと考えております。そして、また、観光や移住などについてテーマごとにこの分野を連携して、もっと大きくしていくような部分も今後出来ていくことが望ましいと思っていますので、そういったことも見ていただきやすい、皆様に示していけるような形を考えていく必要があると思っています。

(会長)

評価のほうで分かりやすい評価の仕方を示して貰うのと、事業内容についてはさらに加わっていけば、30年度で100%になっているものが、変わっていくようなこ

とを含めて進めていただけるということによろしいでしょうか？

(副会長)

成果は誇っていただいて、120%となっても全くかまわないと思いますので、むしろ励みになると思いますので、そういう形を要望します。

(会長)

充分だと思っていても付け加えるのであれば120%、150%ということになるかと思いますが、漏れがあれば100%が80%に戻ってなどという形になると思いますが、そのような形で考えていただければと思います。ほかどうでしょうか？

(委員)

文言の細かいところで申し訳ないのですが、11ページの障がい者の「がい」の字なのですが、漢字とひらがなとが混在しているので、1222の事業名は障がいの「がい」はひらがなですが、その連携事業の②の障害者は「害」という漢字があるし、統一できないものなのですか？

(会長)

これはもとの何かがあるのでしょうか？

(医療・福祉部会)

法律は漢字の「障害」になります。伊賀市は一般的な文章や文言の中ではひらがなの「障がい」をわざと使っていて、障害者週間はおそらく国全体が障害者週間ですので漢字ということで、国の表現に合わせているということとその違いということだと思います。

(会長)

このままでということによろしいでしょうか？

(委員)

はい。

(会長)

全体のところで気になった箇所なんですけども、特に住民向けのところで、広報誌やパンフレットやフェイスブックとあげられているんですが、逆に見る側がそれに対応できているのか？というのがありますので、特に老人を含めたスマホやタブレット等でどうしたら見られるかということ、もう少し住民向けにやっていただ

かないと、出すだけでなく受け取る側の方がすぐに見られるというような制度を特に作って貰いたいと思っているのですが、そのへんはどうでしょうか？行政で出しているから良いと言うことでなく、見る人が誰でも見れるような工夫をお願いしたいと思うのですが。

(交通情報部)

ICTの活用ということをしていっているところでございます。そういったいろんな世代にインターフェイスの研修が必要となってくるのかな？という感想を持っているところですし、また、従来からの紙媒体、これも大切にしていけないのかなど。ベースはそこに置くのか、そういうところも含めて、部会の方でも揉んでいきたいなと思います。

(会長)

紙は見ないという人もいますし、携帯で緊急地震速報など入ってきますが、内容によって検討していってもらいたいと思いますのでお願いします。その他どうでしょうか？

(委員)

質問いろいろと出させていただいて、それについて全てお答えいただきありがとうございます。その中で、この共生ビジョンの計画が出来て、今までそれぞれの市町村でされていた視点の中に、広域的な自分のところの村・町・市だけではいけないという新たな視点が入って、それに伴って、今までは連携できる場所はどこかという、そういうところが沢山出し合われて、紙面上の計画は出来上がってきたと思うのですが、一番の目的は地域の住民の暮らしが豊かに、便利になるようにということなので、もっと思い切ったものがあるのではないかなと思うのです。情報共有とか会議とかそういう部分ではなく、もっと例えば、予算的なものを先ほどのJRのICカードの利用が出来るようにと考えるならば、その予算を少しJRさんと出し合ってとか、そういうところを表記していくとか。皆さん移動されるのですが、大阪や京都や奈良から乗っても、こちらでは全く使えないんですね。ですから切符をわざわざ買わなきゃいけない。時間が来てもずっと通れない。そんなことから思い切った予算の使い方というものがあるのではないかなという風に思います。計画はできたけれども、発想の転換があるのではないかな？と思いました。要望です。

(会長)

ありがとうございました。新しい事業内容の方向性も出していただいたと思いますので、各部会のほうで取り入れていただければと思います。他どうでしょうか？

(委員)

観光の担当者ですけど、世の中の流れとしては DMO でもインバウンドの方に向いていますよね。海外誘客の方向に。ここにはそういうことが全然触れていないので、ちょっとでも海外向けの誘客に触れて貰ったほうがいいのかないかと思いましたがどうでしょうか？

(会長)

伊賀市の方では既にかなり独自で出されていますけども、連携事業でそれが入るのかどうかということになるかと思いますが

(事務局)

今日いただいたご意見をそれぞれの部会に下ろさせていただいて、年に1度、年度が変わりましたら、それぞれの部会でまた事業を考えていただく機会もありますので、それも反映させていただきたいと思います。

(会長)

よろしいか？来年度の7月頃には、ある程度その方向も出していただければと思います。他よろしいか？それでは次の今後のスケジュールについて事務局から説明をお願いします。

(2)今後のスケジュールについて

(事務局)

★「資料3 今後のスケジュール」について説明

(会長)

ありがとうございます。スケジュールについて何かご質問・ご意見等ございますか？よろしいでしょうか？それでは本日予定されている議事を終了させていただきますけれども、私進行係ということで会長をさせていただいておりましたが、拙い進行で申し訳なかったのですが、本日で終わらせていただきますので、ありがとうございました。

(事務局)

会長ありがとうございました。それでは最後にその他の項に入らせていただきます。議事以外の部分で会議全体を通して、皆様から何かご意見等ございますか？よろしいでしょうか？それでは委員の皆様には平成28年11月よりビジョンの策定に



ご尽力いただき誠にありがとうございました。ここで、伊賀市企画振興部長宮崎より一言お礼を申し上げます。

《挨拶》

昨年度の11月から委員を務めていただき3月31日まで1年5ヶ月の任期、途中人事異動等で代わられた方もありますが、本当にありがとうございました。

定住自立圏共生ビジョンの策定ということ、それから1年目の滑り出しの事業の検討。今日お話を聞かせていただいても、とりあえず滑り出しの段階ではそれぞれの市町村が持っている既存の事業に上乘せしてやっっていこうというところでしたが、委員の皆様方からはこれからの発展の中で、このビジョンの「見える化」ということで、それぞれの市町村が予算を持ち寄りやっっていく事業に将来は展開していかなければならない部分もあるのかなど。ビジョンの見直しを毎回重ねて将来発展していき圏域の皆さんの暮らしを支える部分、あるいは活発な交流を支える部分、賑わいを創出する部分こういったところでビジョンの計画の目的に私どもも努力をさせていただきたい。また今回任期を終えられまして来期委員をお願いする方、新しく入ってこられる方もあると思うが、この懇談会でのご協力をお願いしまして、簡単ではありますがお礼の言葉とさせていただきます。

本当にありがとうございました。

(事務局)

ありがとうございました。以上でビジョン懇談会を終了させていただきます。

— 11:45 終了 —

## 議事録署名欄

平成 年 月 日

\_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_